

会議名称	平成31年度 第1回 交野市子ども・子育て会議		
開催日時	平成31年4月26日(金) 14時00分～		
開催場所	交野市立保健福祉総合センター(ゆうゆうセンター)		
出席者	・委員13人出席(欠席者1人)	・事務局8人	合計21人 傍聴者0人
配付物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・交野市子ども・子育て会議条例</li> <li>・交野市子ども・子育て会議条例施行規則</li> <li>・子ども・子育て会議委員名簿</li> <li>・【資料1】子ども・子育て支援事業の見込み量算出について</li> <li>・【資料2】教育・保育の提供区域の設定について</li> <li>・【資料3】第2期交野市子ども・子育て支援事業計画構成(案)</li> <li>・第2期交野市子ども・子育て支援事業計画策定スケジュール</li> </ul>		
内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 委嘱状交付</p> <p>3. 委員紹介</p> <p>4. 事務局紹介</p> <p>5. 会長挨拶</p> <p>6. 委員出席状況報告</p> <p>7. 議題 「第2期交野市子ども・子育て支援事業計画」策定について</p> <p>会 長：それでは、平成31年度第1回交野市子ども・子育て会議の議題に入りたいと思います。まずは1点目「第2期交野市子ども・子育て支援事業計画」策定について、事務局から説明をしていただきます。よろしくお願ひします。</p> <p>事務局：それでは、資料1「子ども・子育て支援事業の見込み量算出について」でございます。国の基本指針「量の見込み」算出と考え方に基づきまして、算出することになっております。本日の資料につきましては、その概要ということで、お示ししております。1ページ目は算出方法について、3ページ目は将来児童数推計について、5ページに「(3) 子ども・子育て支援事業計画における量の見込み(ニーズ量)」についてまとめさせていただいております。ニーズ調査と実績等を踏まえまして、これから量</p>		

の見込みを算出させていただきたいと思っています。

資料1について、説明させていただきます。1ページ目の算出方法については、大まかにどういった流れでニーズ量を出していくのかを説明しております。1～2ページにまたぎまして、Step1～Step5までございます。

まず、Step1「調査結果から“現在家庭類型”を算出する」についてです。「家庭類型」とは、下の表にありますように、タイプA～Fに分かれております。タイプAはひとり親家庭です。タイプBはどちらも共働きでフルタイムの家庭です。タイプC、C'は片方がフルタイム、片方がパートタイムの家庭です。タイプDは専業主婦（夫）で、片方がフルタイム、片方がパートタイムまたは無職の家庭です。タイプE、E'はどちらもパートタイムの家庭です。タイプFはどちらも無職の家庭です。そして、1年以内の希望を同様にタイプ分けしたものが、Step2の「潜在家庭類型」でございます。

Step3は「潜在家庭類型の事業利用意向を算出する」となっております。ニーズ調査結果におきまして、例えば、こども園や幼稚園、またはほかのサービスについて利用意向を聞いている設問がございます。家庭類型ごとに利用意向を出し、Step4で算出した将来児童推計と掛け合わせてまいります。

Step5は「各“認定区分”の割合を把握する」という段階になります。認定区分につきましては1号～3号まであります。1号は3歳以上の保育をしているお子様、2号が3歳以上の保育認定を受けるお子様、3号が3歳未満の保育認定を受けるお子様となっています。下の表では家庭類型と認定区分の関係を示しています。

3ページでは、将来児童数推計について説明しております。まず、(1)推計の基準と推計期間について、平成26年から平成30年の住民基本台帳をもとに推計しております。推計期間は、2019年から2040年まで推計しておりますが、今回の計画では2020年から5年間の数値のみを採用させていただきます。

(2)推計方法について、交野市はマンションや住宅の開発が予定されておりますので、コーホート要因法という推計方法を探らせていただきました。まず、平成26年から平成30年の住民基本台帳をもとに、1歳以上の各歳の人口の平均変化率を設定します。次に、女性子ども比で0歳が産まれてくる割合を算出します。男女の比率については、平成25年から平成30年の0歳児男女の比率を採用し、0歳児を算出します。

続きまして、③開発によって見込まれる転入人口の設定として、マンション・宅地開発により見込まれる人口を、平成27年国勢調査の5歳区分の割合で設定していきます。平成30年3月31日時点の人口に対して、①の変化率と②の0歳児人口に開発人口を乗せていく形で、今回は人口推計をさせていただきます。

その結果が下の表です。2015年から2018年にかけて、毎年大体200名ずつ減っている状況です。2019年以降も約200名ずつの減少が見込まれております。今回におきましては、推計値の2019年～2024年の値をニーズ量の算出に使用します。

5ページ以降は、まだニーズ量の数値を掲載できておりませんが、4月23日に国から今回の計画のニーズ量の算出の仕方が示されました。今回のニーズ調査におきましては、新しく追加した設問等も幾つかございます。今回、放課後児童クラブについては、各歳ごとに見込むという考え方が示されました。そういった考え方も踏まえながら、次回には出せるようにニーズ量を算出していきたいと考えております。

会 長：説明が終わりました。ただ今の資料1の説明の中で、ご質問、ご意見等がございましたら、お願いします。

委 員：こちらのニーズ量の算出、見込み量の設定の考え方は、あくまでも調査会社のやり方ですか。ニーズというのは、アンケートなどをニーズ集計したものを数値として使うのですか。

事務局：基本的には、ニーズ調査から出てきた数値を使って計算させていただきます。こちらの見込み量設定の考え方というのは、国から手引きと基本方針が示されておりまして、これらの考え方をまとめたものを説明させていただきました。

委 員：実際に計算する数値というのは、国から出てきた数値なのですか。それとも交野市の数値ですか。

事務局：交野市の数値です。交野市で実施されたニーズ調査の結果を採用いたします。

委 員：分かりました。

会 長：見込み量の調査の出し方については、国の一定の計算方式があるということで、それに合わせて交野市の結果を当てはめるということですね。

事務局：はい、そうです。

会 長：他にありますか。ないようですので、こちらについては次回、ニーズ量の数値などをお示しいただきます。引き続き、資料2「教育・保育の提供区域の設定について」、資料3「第2期交野市子ども・子育て支援事業計画構成(案)」、「第2期交野市子ども・子育て支援事業計画策定スケジュール」について、事務局から説明をお願いします。

事務局：まず資料2に基づきまして、説明させていただきます。子ども・子育て支援事業計画におきまして、教育・保育の提供区域の設定が求められております。第1期交野市子ども・子育て支援事業計画の中でも、この提供区域の設定を行っております。

資料2の裏面でございます。第2期交野市子ども・子育て支援事業計画における教育・保育提供区域（案）といたしまして、以下のとおりで考えております。④利用者支援事業については、第1期の現行の計画では2区域に設定しておりましたが、現在の利用者支援事業のあり方が市全域を対象とした事業の展開をしておりますので、1区域に変更を考えております。他は現行と同様で考えております。

続きまして、資料3「第2期交野市子ども・子育て支援事業計画構成（案）」でございます。章立ての構成に関しては、第1期を継承する形で考えております。第3章で「交野市を取り巻く課題」を抽出した上で、計画に盛り込むことを考えています。第5章「施策の展開」の中の項目立ては同様に考えておりますが、国の第2期基本計画策定の基本指針が改正予定であり、その指針に基づきまして、具体的な作成を進めてまいりたいと思います。ちなみに、想定される指針の改正の主な内容としましては、幼児教育・保育の質の確保、保護者の選択を補償する観点から、幼稚園預かり保育に関して適切な量の見込みを行うこと、国際化の進展に伴う外国籍等の子どもたちへの支援・配慮などでございます。

第6章「計画の目標値等」についても、国の動向等を踏まえ、交野市としての「ニーズ量の見込みと確保方策」を検討してまいります。ちなみに、国の動向等というのは、裏面をご確認ください。子ども・子育て関連3法成立以降の子ども・子育てに関する主な法律、制度というのが、このように国の動きとしてございますので、こういったものを踏まえた上で、計画の目標値を設定してまいりたいと考えております。

最後に、第1期交野市子ども・子育て支援事業計画策定スケジュールについて、昨年度はニーズ調査を実施いたしました。また、子ども・子育て会議にも皆様のご協力をいただき、計画策定を実施したところでございます。今年度に関しては、4月の議会でアンケート結果について報告させていただきました。計画策定に関しての子ども・子育て会議を残り5回ほど予定しております、皆様にご協力いただき、庁内の検討会議を随時開催しながら、次期計画の策定をしたいと考えております。12月、1月頃に、計画のパブリックコメントを予定しております。

裏面をご覧ください。このような形で、平成31年度は残り5回、皆様にご協力を頂戴したいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

会長：3点の説明が終わりした。ただ今の資料2、資料3、策定スケジュールについて、ご質問がございましたら、お願いいたします。

委員：スケジュールについて、今日配られた資料では5月15、16、17日が書かれており、第2回が6月に設定されておりますが、これは分けて、毎月されるイメージですか。それとも、前倒しになるのですか。

事務局：後ほど、ご説明させていただこうと思っていたのですが、5月については、子ども・子育て支援事業計画とは別の案件で、幼児教育の無償化についてのご説明と諮問をさせていただく予定です。

会長：5月は幼児教育の無償化についての会議が持たれるということです。

委員：あまだのみや幼稚園の事業計画について、あまだのみや幼稚園が民営化されるとなっておりますが、どのような状況なのか、進捗状況を伺いたいと思います。

会長：この件については別だと思しますので、あとでしっかりと説明してもらいます。

事務局：その他のところで説明させていただきます。

会長：他に、計画とかスケジュール等について、何かご質問ございますか。

委員：病児保育について、現状、利用しにくいので、はじめから諦めて使わないという意見を実際に保護者から聞いています。アンケートの結果だけだと、利用したいと思わない人が多くなってしまいますが、この結果を基にこの第2期計画を進めていくのですか。

事務局：確認をさせていただきたいのですが、病児保育のニーズ量をニーズ調査の結果だけで出すのかということですか。

委員：そうです。今回のアンケートの結果を数値としてまとめられていますが、実際、利用されている保護者の方の話を聞くと、利用できる時間に制限があって、結局、午後からしか出社できないなど、会社を休むのと変わらないらしいのです。それだったら、初めから利用する意味がないという声を聞きました。裏ではそういう気持ちがあるけれども、アンケートの結果としては、こういう数値が表れているのではないですかと、前回させていただきました。このアンケートの数値だけで進むのであれば、実際に保護者の方が望んでいるのと、市の計画がずれてくるのではないかと思います。市の考えとしては、その辺を踏まえて数値の調整をされるのですか。どのように計画を立てるのですか。

事務局：アンケートは基礎資料といたしまして、有意義な資料だと捉まえておりますが、やはり、子ども・子育て会議の中で各委員の皆様から頂いた意見も踏まえて、ニーズ量の算出を取り組んでまいりたいと思っております。

委員：捉まえた数値というというのは、例えば、最終的に捉まえた数値がこうになりましたよというのは私たちには分かりますか。ただし書きで、アンケートの数値はこうだったけれども、こういう係数をかけて、この数値になりましたというような表記で出るのでしょうか。ただ単に数値だけが出るだけで、それがアンケートの数値なのか、捉まえた上での数値なのかは、ほかの方には分からないと思います。

事務局：非常に難しいご質問かなと思います。このアンケート調査は、共働きとか一切関係なしで、ひとり親で働いている世帯もあります。それを含めた結果になっていますので、働いている世帯のニーズと、このアンケートの結果というのは、若干違うところもあるかと思います。また、病児保育をしている交野病院の状況と、働いている世帯のニーズの把握はかなり難しいと思います。私どももそのニーズは承知しておりますので、2つ目の開設に向けて取り組んでいくという考え方は示せると思います。ただ、それに向かって医療機関の協力も絶対に必要になりますので、行政として2つ目の開設に向けてして努力していくといった形になります。計画でどう表現するかといったことはお諮りすることになると思います。

会長：委員が言っているのは、数字には出てこないと思いますので、市に対して要望をしておかないといけないと思います。

委員：この計画案で待機児童ゼロを必ず実行できるのですか。待機児童の解消につながるように進めていっていただきたいと思います。

事務局：待機児童の解消に向けては、今回コーホート要因法を採用しており、実際に起こりうる土地の開発等も含めた形での現実味のあるニーズ調査、人口推計となっておりますので、この事業計画は待機児童解消の礎となる資料となり、この事業計画に沿って待機児童の解消に向けて取り組みを進めていく形になります。

会長：待機児童ゼロになるというのはなかなか言いにくいところです。毎年ゼロになるよう努力はしているとは思いますが、そこら辺はどうですか。

事務局：事業計画どおりいけば、解消できるように目標設定しております。

会長：数字は変わっていくので、なかなか難しいところがありますが、できるだけ満足できるような制度を運営していただければと要望しておきます。

他にありませんか。計画書構成案の内容につきまして、皆様のご意見が計画骨子の中にできるだけ反映してもらえるようお願いしたいと思いますが、それでよろしいですか。

次に議題2「その他」について、事務局よりお願いします。

(2) その他

事務局：支援者交流会についてご案内させていただきます。5月31日金曜日、午前10時から、「話そう！子育て世代の困りごと」～地域ぐるみで子育て・子育てを支える交野へ～というテーマで、ファシリテーターの佐々木千里さんをお招きして開催いたします。子育て支援者のみならず、子育て中の保護者の方も呼び掛け、ご意見を頂き、計画に反映させていきたいと考えております。お時間ございましたら、ぜひご参加いただければと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。

会長：5月31日のイベントの件でご報告がありました。ご質問がないようでしたら、先ほどのご質問につきまして、お願いします。

事務局：先ほどご質問いただきました、森新池の進捗状況につきましてご報告させていただきます。現在、大阪府の開発許可後に工事を開始する予定です。開発申請の手続きを進めているところで、最終の開発申請の手続きに入っています。5月中には許可が下りるのではないかとこのところ、手続きを進めています。

4月11日に、森の住民の方を対象に説明会をさせていただいております。その説明会の内容でございますが、許可が下りましたらスムーズに本工事には入れるよう、事前の準備作業を開始させていただきたいという説明会をさせていただきました。事前の準備作業には大きく2つございまして、1つは道路整備が1箇所ございました。河内磐船駅のロータリーのすぐ近くで1箇所狭い所がありますので、先日、道路の広さを確保する作業をさせていただきました。もう1つは、駅周辺の樹木や草木の伐採作業をゴールデンウィーク明けからスタートします。また、家屋状況調査を予定しております。

一方、池のほうですが、開発許可が下りた時点で、改めて住民の方に工事の詳細についてご説明させていただく予定にしております。また、あまだのみや幼稚園の保護者に対しても、そのタイミングで説明会をさせていただきたいと考えております。

見通してとしては、6、7月に工事がスタートできるよう、取り組んでおります。

会長：森新池の状況について、お話しいただきました。ご質問はございますか。

委員：来年の3月末、4月には出来上がる見込みはあるのでしょうか。

事務局：今、なんとか間に合うように努力をしているところです。早く許可をいただきまして、工事をスタートしたいと考えているところでございます。

会長：この件はよろしいでしょうか。それでは、次回の会議について、お願いします。

事務局：次回の交野市子ども・子育て会議について、幼児教育の無償化についてのご審議を予定しております。開催日程は5月15日水曜日の午前・午後か、16日木曜日の午前、17日金曜日の午前・午後のいずれかで開催を予定しております。本日予定がお分かりの方は記入して、テーブルに置いていただきたいと思います。予定が不確定の方は、申し訳ございませんが、5月8日水曜日までにFAXにて事務局にお送りいただけますように、お願いいたします。日程が決まりましたら、また改めて、皆様にお知らせを送りますので、よろしくをお願いいたします。

会 長：5月に行われる子ども・子育て会議については、10月から無償化の問題についてのみで、先ほどのスケジュールのものとは別口であるということで、よろしいですね。

事務局：詳しくは来月の会議でご説明させていただきますが、概要だけご紹介させていただきます。ご承知のように、本年10月から国のほうで幼児教育の無償化という、新しい制度が始まります。3歳～5歳の保育料が無償になっていきます。0歳～2歳は、基本的には同じなのですが、0歳～2歳のお子さんをお持ちの非課税世帯につきましては、同様に無償化になります。

現在、交野市の無償化の対象については、就学前児童だけをカウントして、3人目は無料、2人目は半額、1人目は全額としてきましたが、その年齢制限を撤廃し、市独自の無償化対応を検討してございます。来月の子育て会議の中でご審議いただきたいと思いますと考えてございます。

同様に、給食費については、今回の国の制度では給食費は無償化ではありません。これにつきましても、一定の範囲で市の独自施策として対応したい部分がございます。

また、幼稚園で行われている預かり保育事業や認可外保育施設についても、新たな制度に対応するために、市としても新たな制度を構築する必要があるがございますので、検討した結果を一定のところでご紹介させていただき、ご審議いただくのが次回の内容になります。

会 長：次回の子ども・子育て会議は、10月からの無償化のこと以外に、交野市独自の何かをつけるという話もあるようですので、皆さんぜひとも出席していただき、ご意見をいただきたいと思います。皆さんのご都合を伺いして、事務局が調整し、ご案内していただくとのことですので、事務局、よろしく申し上げます。本日の案件は全て終了しました。これで閉会いたします。